2講座 説明文の読解 標準

学習日　月　日

◆ 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

道徳は、他者の利益と自分の利益の*葛藤から起こることなので、①道徳的に行動することができるには、一つには、他者というものがいて、その人も自分と同じように考えたり感じたりする存在であるということを理解できることが必要でしょう。このことは、人間であれば当たり前のように思われるかもしれませんが、生物学的に考えるにあたっては、②非常に重要なことです。なぜなら、他者の心の理解ということは、人間以外の動物には、あまりその証拠がないからです。③それには「心の理論」という脳の働きがかかわっています。

「心の理論」とは、心についての科学的な理論のことではありません。そうではなくて、人間が誰でも持っている、④他人の心の状態を類推する脳の機能のことを「心の理論」と呼ぶのです。私たちは、日常的に他者の心の状態を無意識のうちにも類推しながら暮らしています。笑い顔の人を見れば、その人は楽しいと感じているのだなと類推しますし、泣いている人がいれば、その人は悲しいと感じているのだなと類推します。また、「ねえ、はさみ持ってる？」と訊かれると、その人は、ただ単にあなたがはさみを持っているかどうかという［　　］のではなく、その人自身がはさみが欲しいのだな、とその人の欲求や目的を類推します。このように、人が他者の表情や言葉などを手がかりにしてその人の心の状態を推測する機能を「心の理論」と言うのです。

⑤なぜ「理論」なのかと言うと、他人の心というものは手にとって見てみることはできないので、他人が何を考えているのか、何を感じているのかは、しょせんは推測にすぎないからです。しかし、私たちは、他者の心の状態について、ただやみくもにあてずっぽうの推測をしているのではなく、表情や言葉などが何を意味しているのかを理解し、ある「理論」をもって、他者の欲求や目的や心の状態を推測しているでしょう。その全体の働きが、「心の理論」なのです。他者理解のために「心の理論」がたいへん重要であることは、よくおわかりのことと思います。これがうまく働いているからこそ、人は、自分とは異なる他人の状態を推測し、その人が何を欲しているのかを理解することができるのです。

「心の理論」が、子どものときにどのように発達していくのかについては、いくつもの研究があります。乳幼児は、自分自身の感覚と知覚、そして自分自身の感情状態を参照しながら、他者の視線の方向、他者の顔面表情などから、他者にも欲求があること、達成したいと欲する目的があることを知り、他者の心は、その視線や表情から類推できるということを徐々に理解していきます。四、五歳になれば、自分の欲求と他者の欲求とが異なる場合があることや、他者の思っていることが、現実とは異なる場合もあることなど、⑥いろいろな社会的状況が理解できるようになります。だからこそ、⑦さまざまな登場人物の心の葛藤の描写が含まれた「お話」「物語」を楽しむことができるのです。

この「心の理論」という脳の働きは、人間の脳に備わったものであって、視線の方向の探知、顔面表情の読み取りなど、それぞれに特殊化した神経細胞もあります。そして、赤ん坊のころから四、五歳ぐらいまでの間に、順を追って発達していくようです。

〈長谷川眞理子「生き物をめぐる4つの『なぜ』」より〉

＊葛藤＝心の中でいろいろな感情が対立し、悩み苦しむこと。

〈山口改〉

(1) ――線①「道徳的に行動する」とは、どのようにすることか。適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 他者の利益を優先させて自分は損害を受けると覚悟して行動すること。
イ 他者と自分両者の利益の均衡を保つために手段を選ばず行動すること。
ウ 社会の約束ごとを守り人として行うべきやり方を考えて行動すること。
エ 社会から認められるように家庭や学校で教わったとおり行動すること。

［　　］

(2) ――線②「非常に重要なこと」とあるが、どのようなことが非常に重要なことなのか。文章中の言葉を使って四十字以内で書きなさい。

(3) ――線③「それ」とは、何を指しているか。文章中から七字で抜き出して書きなさい。

(4) ――線④「他人の心の状態を類推する脳の機能」とあるが、人は他人の心の状態を類推する際に、他人のどのようなものを手がかりにしていると述べているか。文章中から漢字二字の語を三つ抜き出して書きなさい。

(5) ［　　］にあてはまる言葉として適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 方法に関心がある　　イ 手段を検討している
ウ 意志を確認している　　エ 事実に興味がある

［　　］

(6) ――線⑤「なぜ『理論』なのか」とあるが、この質問に対する答えとして適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 人の心の状態を推し測るための、筋道だった判断の基準があるから。
イ 人の心の状態は目に見えないので、想像して言い当てるしかないから。
ウ 人の心の状態は、生物学的に考える必要がある脳の働きのことだから。
エ 人の心の状態を推測するためには、専門的な知識が必要となるから。

［　　］

(7) ――線⑥「いろいろな社会的状況」の例として挙げられていることを二つ文章中から抜き出し、それぞれ初めと終わりの五字を書きなさい。

～　　～

(8) ――線⑦「さまざまな登場人物の心の葛藤の描写が含まれた『お話』『物語』を楽しむことができる」とあるが、それはなぜか。その理由を「心の理論」という言葉を用いて四十字以内で書きなさい。

(9) この文章は、大きく二つに分けることができるが、後半はどこから始まるか。後半の初めの七字を抜き出して書きなさい。（符号も一字に数える）

▲表現力 あなたの言葉で答えよう

・「自身」という言葉の同音異義語を一つ使って、短文を作成しなさい。

［　　］